

永久保存

鹿兒島県立博物館収蔵資料目録

1994

第Ⅲ集

種子植物

被子植物
離弁花類
合弁花類
単子葉植物

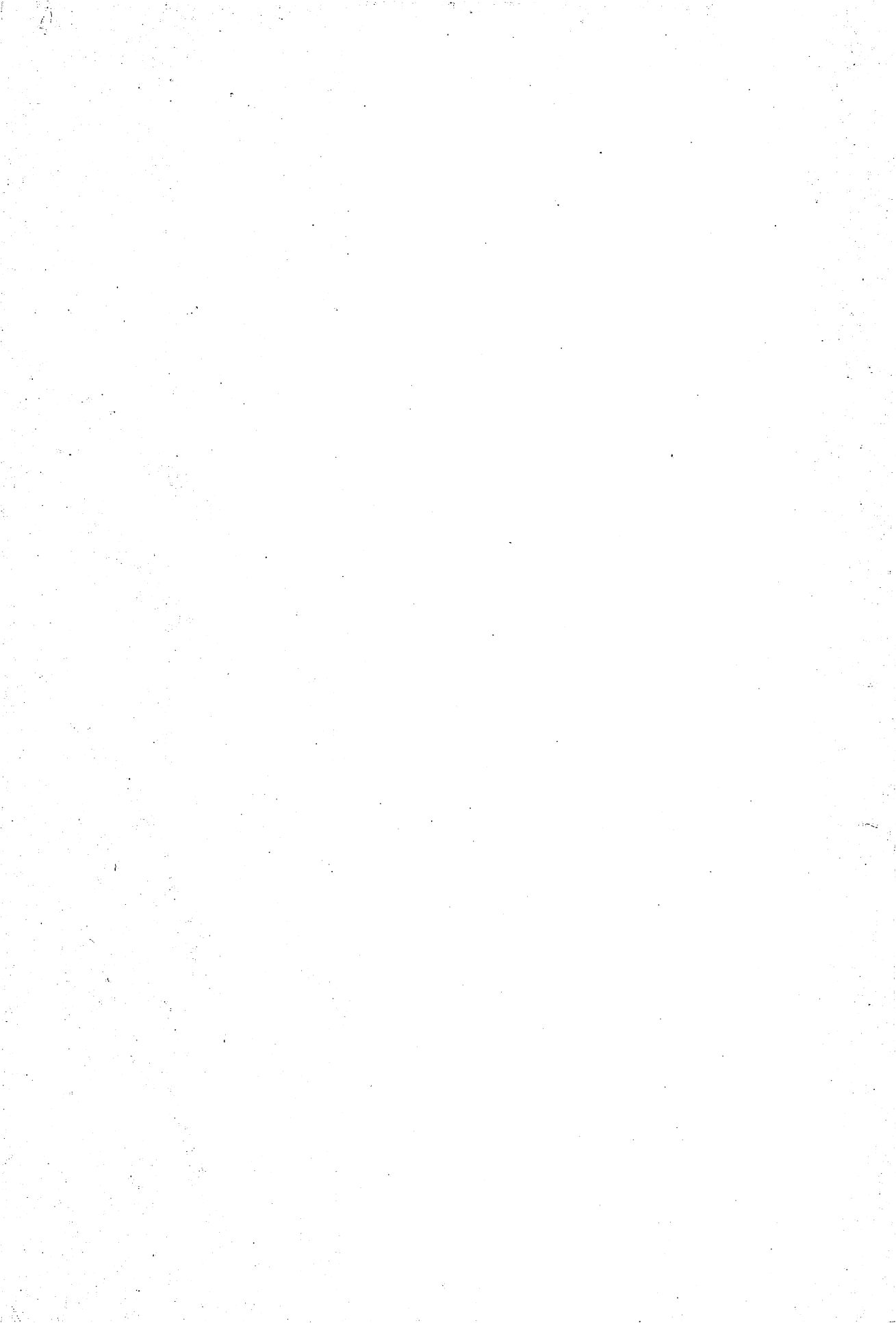
軟体動物

貝類

節足動物

昆虫類

鹿兒島県立博物館



鹿兒島県立博物館収蔵資料目録

1994

第Ⅲ集

種子植物

被子植物
離弁花類
合弁花類
単子葉植物

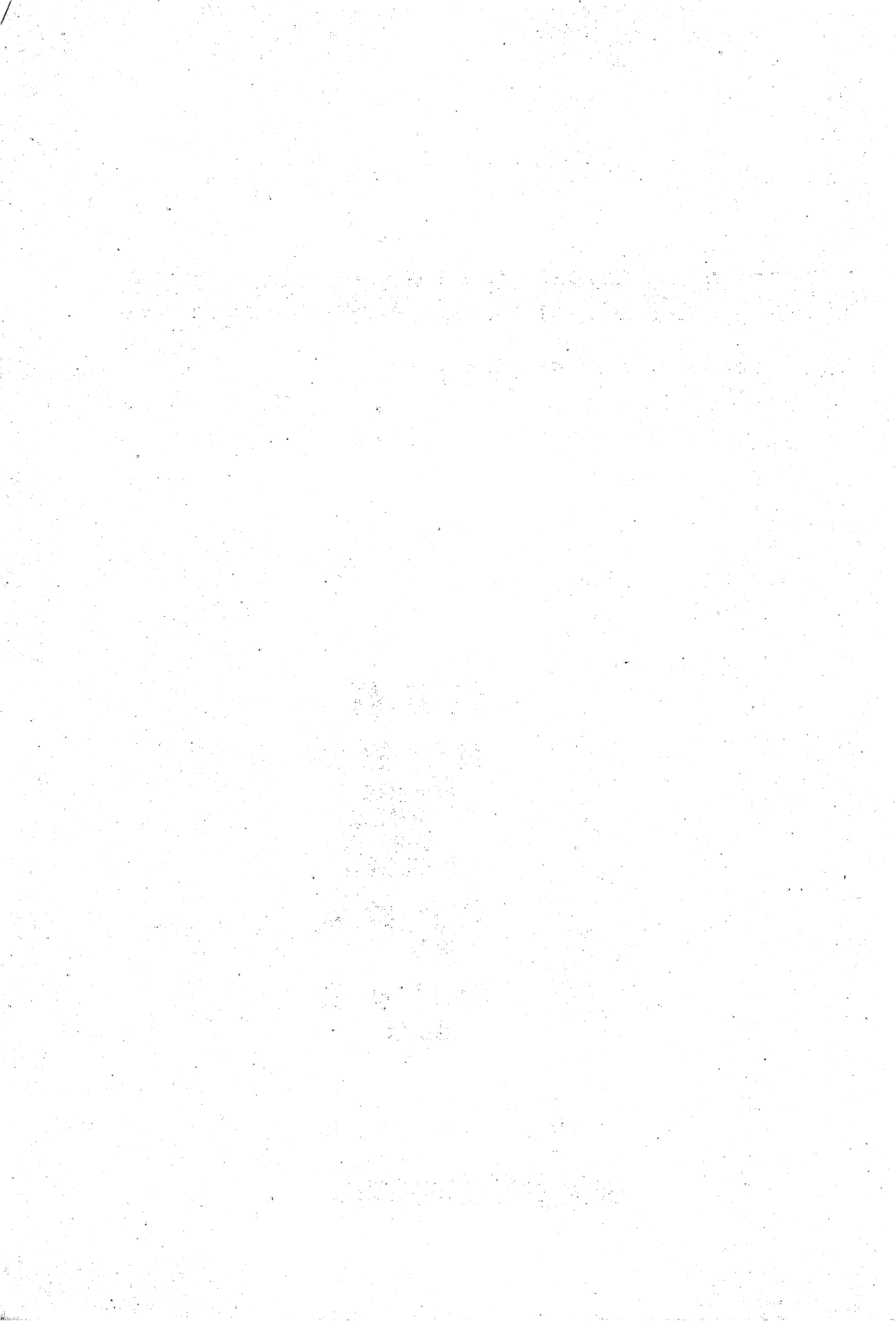
軟体動物

貝類

節足動物

昆虫類

鹿兒島県立博物館



発刊に当たって

鹿児島県は、温帯域から亜熱帯域に属し、また、県本土最南端の与論島まで600kmの広がりを持ち、実に多彩で豊かな自然に恵まれています。九州最高峰の宮之浦岳を有する屋久島は、ヤクスギ、ヤクシマシャクナゲをはじめとして、世界的にも貴重な自然を有し、平成5年12月世界自然遺産に登録されました。

鹿児島県立博物館では、開館以来、資料収集・保管事業を継続的に進め、豊かで多彩な自然を人びとに紹介すべく数多くの資料を保管・活用しています。これらの資料は県民の貴重な財産であり、学術的な研究にも供するものであります。平成3年度から、資料の一層の活用を推進するため、資料のデータをコンピュータに入力し、さらに、収蔵資料目録を作成してきました。本年度は、ここに、鹿児島県立博物館収蔵資料目録第Ⅲ集を刊行することができました。

当博物館の収蔵資料数は5万点余あり、第Ⅰ集～第Ⅲ集の完成により、ほとんどの資料のデータを即座に利用できるようになりました。さらに、これらのデータは、コンピュータを使って目的に応じた活用をしてもらうため、検索等の処理による多様な利用ができるよう、当館学習情報室にコンピュータコーナーを設置し、自由に操作できるようにしてあります。

今後さらに、調査・研究・資料収集を計画的継続的に進め、常に新しい情報を備えた資料の展示や調査・研究に基づく学術的・教育的に価値の高い資料の収集・保存活用に努めていきたいと考えています。

収蔵資料の中には、県民の皆様からいろいろ寄贈された資料もあり、感謝申し上げるとともに、今後も一層の御協力をお願いしたいと思っています。

この収蔵資料目録が多くの方々に有効に活用され、自然への理解と環境保全等への認識が高まることを願っています。

平成6年3月

鹿児島県立博物館長 立 園 多賀生

二、六、三、二、一

一九四九年一月一日，在解放战争取得决定性胜利、国民党政府即将垮台之际，毛泽东发表了《目前形势和我们的任务》。在这篇著作中，毛泽东提出了新民主主义革命的总路线，即“无产阶级领导的，人民大众的，反对帝国主义、封建主义和官僚资本主义的革命”。这一总路线的提出，标志着新民主主义革命理论的发展达到了一个新的高度。毛泽东指出，新民主主义革命是社会主义革命的必要准备，社会主义革命是新民主主义革命的必然趋势。这一论断，深刻揭示了新民主主义革命与社会主义革命之间的内在联系，为中国的革命事业指明了方向。

在《目前形势和我们的任务》中，毛泽东还提出了新民主主义经济纲领，即“没收封建阶级的土地归农民所有，没收官僚资产阶级的垄断资本归新民主主义国家所有，保护民族工商业”。这一经济纲领的提出，体现了新民主主义革命的性质和任务，为中国的经济建设和发展奠定了基础。毛泽东指出，新民主主义经济纲领的实施，将有利于解放和发展生产力，有利于改善人民生活，有利于实现国家的独立和民族的解放。

此外，毛泽东还提出了新民主主义政治纲领，即“建立无产阶级领导的、以工农联盟为基础的、各革命阶级联合专政的民主共和国”。这一政治纲领的提出，体现了新民主主义革命的政治目标，为中国的政治建设和发展指明了方向。毛泽东指出，新民主主义政治纲领的实施，将有利于实现国家的统一和民族的团结，有利于实现国家的独立和民族的解放。

《目前形势和我们的任务》的发表，是毛泽东革命理论发展的重要里程碑。它不仅为中国的革命事业提供了理论指导，也为世界被压迫民族的解放事业提供了借鉴。这篇著作的发表，标志着新民主主义革命理论的发展达到了一个新的高度，为中国的革命事业指明了方向。

（注：本文根据《毛泽东选集》第四卷相关内容整理）

種子植物



ショウベンノキ



モンパノキ



チョウセンノギク



ヤンバルナスビ



タチスミレ



ヤクシマアカシュラン



タツノツメガヤ



ツキイゲ

貝類



クロスジグルマガイ



ホラガイ



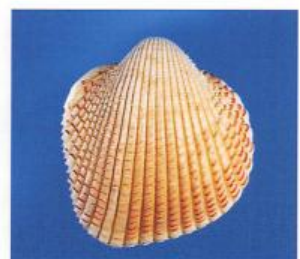
ホシダカラガイ



バカガイ



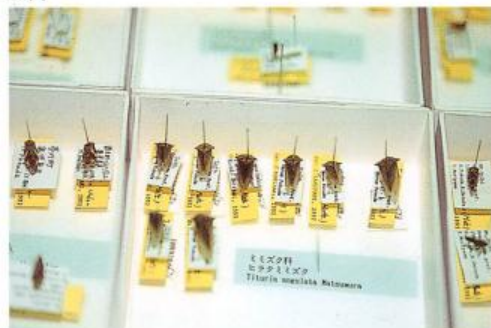
トコブシ



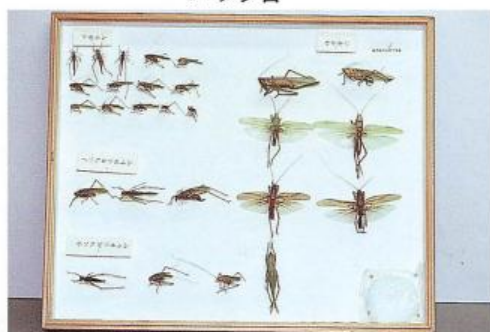
カワラガイ

昆虫類

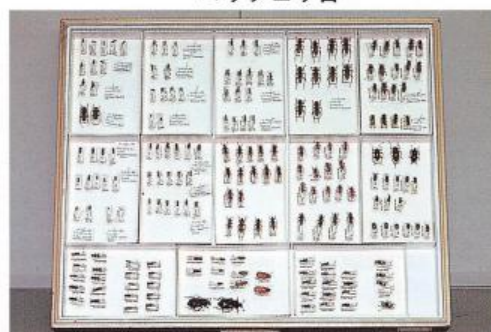
カメムシ目



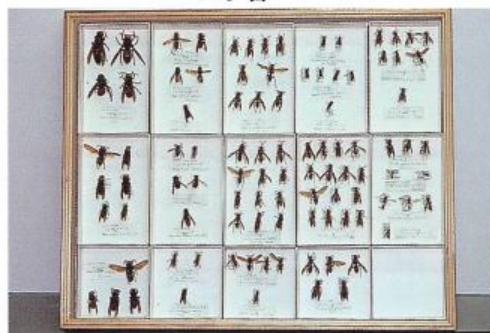
バッタ目



コウチュウ目



ハチ目



ハエ目



チョウ目 (ガ類)



凡 例

- 1 本書は鹿児島県立博物館が平成5年(1993年)12月までに収蔵した資料の目録第Ⅲ集であり、種子植物(被子植物の離弁花類47科468種3124点,合弁花類38科855種5319点,単子葉植物26科714種3448点),軟体動物貝類(172科1391種3048点),節足動物昆虫類(178科2172種13425点)を記載してある。ただし、データが不明なため本目録から除いた資料もある。
- 2 科名の配列は、次の文献に準拠した。
植物:「改訂鹿児島県植物目録」(初島住彦編,鹿児島植物同好会発行,1986)
貝類:「日本及び周辺地域産軟体動物総目録」(肥後俊一・後藤芳央編,エル貝類出版局,1993)
昆虫類:「日本産昆虫総目録」(平嶋義宏監修,九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集,1989)
ただし、一部修正したものがあつたり、これらにないものは適宜他書から引用した。
- 3 同一科内の種名等の配列は、アイウエオ順とした。
- 4 種名等の並び方と書き方
植物……種(sp),亜種(ssp),変種(var),品種(f),園芸品種(cv)を同格で並べた。
貝……種名で並べた。
昆虫……種名で並べた。
- 5 和名の行の最後に資料数を記した。ただし、資料数の1の場合は省略した。
- 6 植物の和名の下に県内の分布等の解説を記した。
- 7 データ不明瞭のものについては、まったく分からないものは不明,信用のおけないものは空欄とした。
- 8 データは産地,採集年月日,採集者,資料番号の順とし,推定は()で記した。データ同一の資料が複数の場合は,資料番号の次に数を示した。
- 9 同一種内の産地の表示について
 - (1) 鹿児島県内のもものは市町村名から示した。ただし,二つ以上の市町村にわたる地域でラベルから判断できない地名(例;烏帽子岳,霧島山,入来峠など)は一応そのまま記した。
 - (2) 主な山,島については,市町村より先に記した。なお,これらについては添付地図を参照。
 - (3) 県外産のものには都道府県名をいれた。
 - (4) 産地は県内のもものを先に,おおよそ北から順に記した。
 - (5) コンピュータ処理によるため,産地や採集者名の長いものは途中で切れていることがある。

目次

種子植物

被子植物

センダン科	1	ウリノキ科	40
キントラノオ科	1	フトモモ科	40
ヒメハギ科	1	ノボタン科	41
トウダイグサ科	1	ヒシ科	42
アワゴケ科	8	アカバナ科	42
ツゲ科	8	アリノトウグサ科	43
ガンコウラン科	8	ウコギ科	44
ウルシ科	8	セリ科	46
モチノキ科	9	ミズキ科	50
ニシキギ科	12	イワウメ科	51
ミツバウツギ科	15	リョウブ科	51
カエデ科	16	イチヤクソウ科	52
トチノキ科	18	ツツジ科	52
ムクロジ科	18	ヤブコウジ科	57
アワブキ科	19	サクラソウ科	59
ツリフネソウ科	19	イソマツ科	61
クロウメモドキ科	20	アカテツ科	61
ブドウ科	22	カキノキ科	62
ホルトノキ科	23	ハイノキ科	62
シナノキ科	24	エゴノキ科	65
アオイ科	24	モクセイ科	66
アオギリ科	26	フジウツギ科	68
マタタビ科	26	リンドウ科	69
ツバキ科	27	キョウチクトウ科	71
オトギリソウ科	30	ガガイモ科	72
ミゾハコベ科	31	ヒルガオ科	74
スミレ科	31	ムラサキ科	76
イイギリ科	35	クマツツラ科	78
キブシ科	35	シソ科	81
トケイソウ科	36	ナス科	87
パパイヤ科	36	ゴマノハグサ科	89
ジンチョウゲ科	36	ハマウツボ科	93
シュウカイドウ科	37	イワタバコ科	94
グミ科	37	タヌキモ科	94
ミソハギ科	38	キツネノマゴ科	95
シクンシ科	39	ハエドクソウ科	96
サガリバナ科	39	オオバコ科	96
ヒルギ科	39	ハマジンチョウ科	97

アカネ科	97
ハナシノブ科	105
スイカズラ科	106
オミナエシ科	110
ウリ科	110

マツムシソウ科	112
キキョウ科	112
クサトベラ科	113
キク科	114

単子葉植物

ガマ科	136
ヒルムシロ科	137
イバラモ科	137
ホロムイソウ科	137
オモダカ科	138
トチカガミ科	138
イネ科	138
カヤツリグサ科	161
ヤシ科	178
サトイモ科	178
ウキクサ科	180
トウツルモドキ科	180
ホンクサ科	180

ツユクサ科	181
ミズアオイ科	182
タヌキアヤメ科	182
イグサ科	182
ビャクブ科	184
ユリ科	184
ヒガンバナ科	191
アヤメ科	191
ヤマノイモ科	191
バショウ科	192
ショウガ科	192
ヒナノシャクジョウ科	193
ラン科	193

軟体動物（貝類）

腹足綱

ミミガイ科	200
クチキレエビス科	200
スカシガイ科	200
ツタノハ科	201
ワタゾコシロアミガサ科	201
ユキノカサ科	201
ヒメカタベガイ科	202
ニシキウズ科	202
ヒメアワビ科	204
カタベガイ科	204
リュウテン科	204
サラサバイ科	205
アマガイモドキ科	205
アマオブネ科	205
フネアマガイ科	206
ユキスズメ科	206
ヤマキサゴ科	206
ヤマタニシ科	206
ヤマクルマ科	206
ムシオイガイ科	206

アズキガイ科	206
ゴマガイ科	206
タニシ科	207
リンゴガイ科	207
タマキビガイ科	207
クビキレガイ科	207
リソツボ科	207
ヘソカドガイ科	208
カワザンショウガイ科	208
イソコハクガイ科	208
イソマイマイ科	208
トウガタカワニナ科	208
カワニナ科	208
ゴマフニナ科	209
オニノツノガイ科	209
スズメハマツボ科	210
ミジンウキツボ科	210
モツボ科	210
スナモチツボ科	210
ウミニナ科	211

キリガイダマシ科	211	クダマキガイ科	235
ミミズガイ科	211	イモガイ科	236
ムカデガイ科	211	タケノコガイ科	238
スイショウガイ科	211	アサガオガイ科	238
スズメガイ科	213	イトカケガイ科	238
フウリンチドリ科	213	クルマガイ科	238
シロネズミガイ科	213	ナワメグルマ科	239
カツラガイ科	213	ホソアラレキリオレ科	239
カリバガサ科	213	トウガタガイ科	240
クマサカガイ科	213	オオシノミガイ科	240
タカラガイ科	214	マメウラシマ科	240
ウミウサギ科	217	ミスガイ科	240
シラタマガイ科	217	スイフガイ科	241
ザクロガイ科	217	オオコメツブガイ科	241
タマガイ科	217	キセワタ科	241
ヤツシロガイ科	219	ナツメガイ科	241
イチジクガイ科	219	タマゴガイ科	241
トウカムリ科	219	ブドウガイ科	241
タマゴボラ科	220	ヘコミツララガイ科	241
フジツガイ科	220	カメガイ科	241
オキニシ科	221	オカミミガイ科	242
アミメケシカニモリ科	221	ケシガイ科	242
ハマゴウナ科	221	カラマツガイ科	242
アクキガイ科	221	モノアラガイ科	242
サンゴヤドリ科	224	ヒラマキガイ科	242
フトコロガイ科	225	キバサナギガイ科	242
オリエレヨフバイ科	226	ミジンマイマイ科	242
エゾバイ科	228	イトヒキサナギガイ科	242
セコバイ科	230	キセルモドキ科	243
テングニシ科	230	キセルガイ科	243
イトマキボラ科	230	オカクチキレガイ科	244
マクラガイ科	231	ネジレガイ科	244
フデガイ科	231	オカモノアラガイ科	244
ガクフボラ科	234	ベッコウマイマイ科	244
ショクコウラ科	234	コハクガイ科	244
オニコブシ科	234	カサマイマイ科	244
イトグルマ科	234	ナンバンマイマイ科	244
コゴメガイ科	234	オナジマイマイ科	245
コロモガイ科	234		

二枚貝綱 (斧足綱)

クルミガイモドキ科	245	ハトムギソデガイ科	245
クルミガイ科	245	シワロウバイ科	245

ナギナタソデガイ科	246	シャコガイ科	253
フネガイ科	246	バカガイ科	253
シコロエガイ科	246	チドリマスオ科	254
タマキガイ科	246	フジノハナガイ科	254
オオシラスナガイ科	247	ニッコウガイ科	254
イガイ科	247	アサジガイ科	255
ハボウキガイ科	248	シオサザナミ科	255
ウグイスガイ科	248	キヌタアゲマキ科	256
マクガイ科	248	ナタマメガイ科	256
シュモクガイ科	248	マテガイ科	256
イタヤガイ科	249	フナガタガイ科	256
ワタゾコツキヒガイ科	249	コウボネガイ科	256
ウミギク科	249	シジミ科	256
ネズミノテガイ科	250	ドブシジミ科	256
ミノガイ科	250	マルスダレガイ科	257
ナミマガシワ科	250	イワホリガイ科	259
ベッコウガキ科	250	クチベニガイ科	259
イタボガキ科	250	キヌマトイガイ科	259
イシガイ科	251	ツクエガイ科	259
ツキガイ科	251	ニオガイ科	259
フタバシラガイ科	251	フナクイムシ科	259
キクザルガイ科	252	ミツカドカタビラ科	259
タナベガイ科	252	リュウグウハゴロモ科	259
トマヤガイ科	252	オキナガイ科	259
モシオガイ科	252	ハマユウガイ科	260
ザルガイ科	252	シャクシガイ科	260

節足動物（昆虫類）

チョウ目（ガ類）

コウモリガ科	261	フタオガ科	276
ボクトウガ科	261	イカリモンガ科	277
ハマキガ科	261	カレハガ科	277
ヒロハマキモドキガ科	261	オビガ科	277
スヒロキバガ科	261	カイコガ科	277
マダラガ科	261	イボタガ科	278
イラガ科	264	ヤママユガ科	278
マトガ科	264	スズメガ科	278
メイガ科	264	シャチホコガ科	282
カギバ科	267	ドクガ科	284
オオカギバ科	269	ヒトリガ科	285
トガリバガ科	269	ヒトリモドキガ科	288
シャクガ科	269	コブガ科	289
アゲハモドキガ科	276	カノコガ科	289

ヤガ科 289

トラガ科 305

ハエ目

ケバエ科 306
クサアブ科 306
ミズアブ科 306
シギアブ科 306
アブ科 306
コガシラアブ科 307
ツリアブ科 307
ツルギアブ科 307

ムシヒキアブモドキ科 307
ムシヒキアブ科 307
アタマアブ科 308
ハナアブ科 309
ミバエ科 313
ヤチバエ科 313
ベッコウバエ科 313
シマバエ科 313

カメムシ目

ヒシウンカ科 314
ウンカ科 314
テングスケバ科 314
グンバイウンカ科 314
マルウンカ科 314
アオバハゴロモ科 314
ハゴロモ科 315
コガシラアワフキ科 315
アワフキムシ科 315
ツノゼミ科 316
ミミズク科 316
ブチマクヨコバイ科 316
ホシサジヨコバイ科 316
オサヨコバイ科 316
オモナガヨコバイ科 316
フトヨコバイ科 317
オオヨコバイ科 317

ヨコバイ科 317
アメンボ科 317
メクラカメムシ科 317
マキバサシガメ科 317
サシガメ科 317
ナガカメムシ科 318
ホシカメムシ科 319
オオホシカメムシ科 319
ホソヘリカメムシ科 320
ヘリカメムシ科 320
ヒメヘリカメムシ科 322
マルカメムシ科 322
ツチカメムシ科 322
キンカメムシ科 323
ノコギリカメムシ科 323
カメムシ科 323
ツノカメムシ科 326

ハチ目

ミフシハバチ科 327
ハバチ科 327
キバチ科 327
コマユバチ科 327
ヒメバチ科 328
セダカヤセバチ科 330
ツノヤセバチ科 330
シリアゲコバチ科 330
アシプトコバチ科 330
セイボウ科 330
アリバチ科 331

ツチバチ科 331
アリ科 333
ベッコウバチ科 336
ドロバチ科 337
スズメバチ科 338
アナバチ科 340
ムカシハナバチ科 342
コハナバチ科 342
ヒメハナバチ科 343
ケアシハナバチ科 343
ハキリバチ科 343

バッタ目

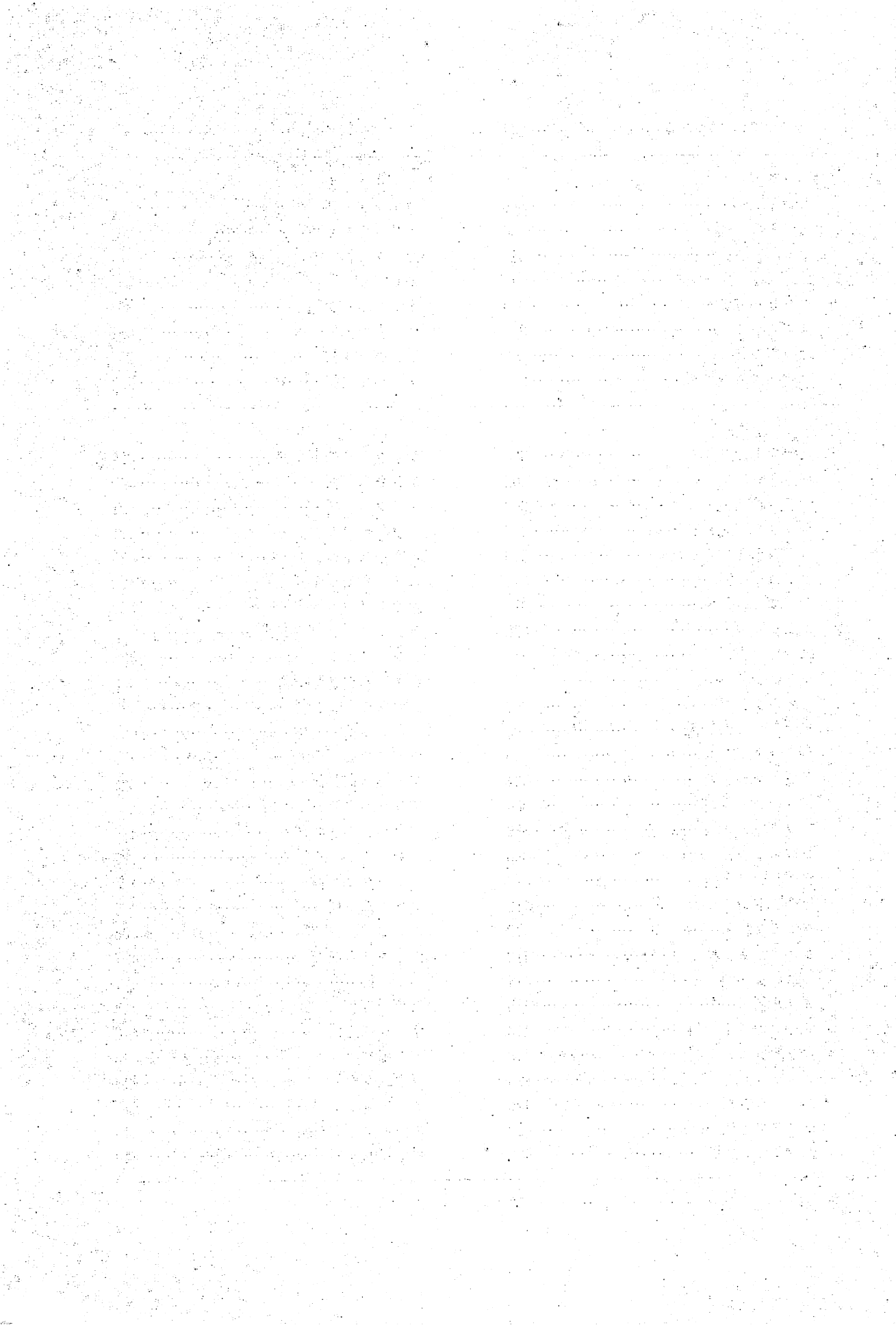
コロギス科 346
 カマドウマ科 346
 ケラ科 346
 コオロギ科 346
 クサヒバリ科 350
 スズムシ科 350
 マツムシ科 350
 クマスズムシ科 351

カネタタキ科 351
 アリツカコオロギ科 351
 カンタン科 351
 キリギリス科 351
 オンブバッタ科 356
 バッタ科 357
 ヒシバッタ科 365
 ノミバッタ科 367

コウチュウ目

ヒゲブトオサムシ科 368
 ハンミョウ科 368
 オサムシ科 368
 ホソクビゴミムシ科 377
 コガシラミズムシ科 378
 ゲンゴロウ科 378
 ミズスマシ科 378
 ガムシ科 378
 エンマムシ科 379
 シデムシ科 379
 ハネカクシ科 380
 デオキノコムシ科 380
 クワガタムシ科 380
 クロツヤムシ科 384
 センチコガネ科 384
 アツバコガネ科 386
 コガネムシ科 386
 ナガハナノミ科 412
 ヒラタドロムシ科 412
 タマムシ科 412
 コメツキムシ科 413
 ベニボタル科 414
 ホタル科 415
 ジョウカイボン科 419
 カツオブシムシ科 419
 ナガシンクイムシ科 420
 シバンムシ科 420
 コクヌスト科 420
 カッコウムシ科 420

ジョウカイモドキ科 420
 ケシキスイ科 420
 ヒラタムシ科 421
 ホソヒラタムシ科 421
 オオキスイムシ科 421
 コメツキモドキ科 422
 オオキノコムシ科 422
 テントウムシダマシ科 422
 テントウムシ科 422
 キノコムシダマシ科 423
 ナガクチキムシ科 423
 ハナノミ科 423
 カミキリモドキ科 424
 アカハネムシ科 424
 アリモドキ科 424
 ツチハンミョウ科 424
 ハナノミダマシ科 425
 ハムシダマシ科 425
 クチキムシ科 425
 ゴミムシダマシ科 426
 カミキリムシ科 427
 ハムシ科 437
 ヒゲナガゾウムシ科 443
 オトシブミ科 443
 ミツギリゾウムシ科 443
 ゾウムシ科 443
 オサゾウムシ科 449
 ナガキクイムシ科 449
 キクイムシ科 449



昆虫類同定協力者（敬称略）

チョウ目	大坪 博文, 柳田 慶浩
ハエ目	大原 賢二, 永富 昭
カメムシ目	紙谷 聡志, 安永 智彦
ハチ目	幾留 秀一, 櫛下町鉦敏, 山根 正気
バッタ目	畑田 健治, 山下 秋厚
コウチュウ目	紙谷 聡志, 鮫島 拓人, 中條 道崇 中根 猛彦, 中村 剛之, 八尋 克郎

なお種の解説は、柳田慶浩（チョウ目）、山根正気（ハチ目）、畑田健治（バッタ目）、鮫島拓人（コウチュウ目）の各氏が執筆し、カメムシ目は日本原色カメムシ図鑑（1993 友国雅章監修、全国農村教育協会）を参考にして作成した。

鹿児島県立博物館収蔵資料目録 第Ⅲ集

発行日	1994年 3月31日
発行所	鹿児島県立博物館 〒892 鹿児島市城山町 1 - 1 TEL 0992-23-6050 FAX 0992-23-6080
印刷所	(株)朝日印刷 〒890 鹿児島市上荒田町854-1 TEL 0992-51-2191